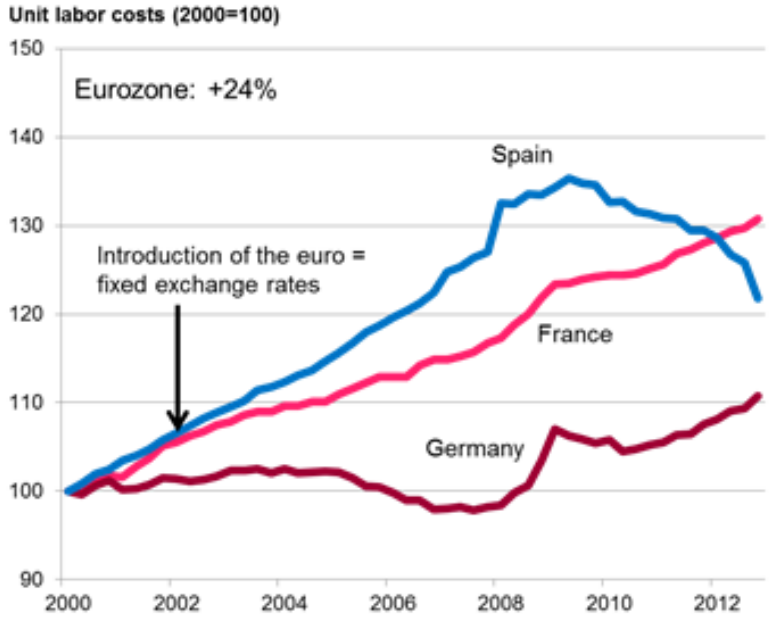
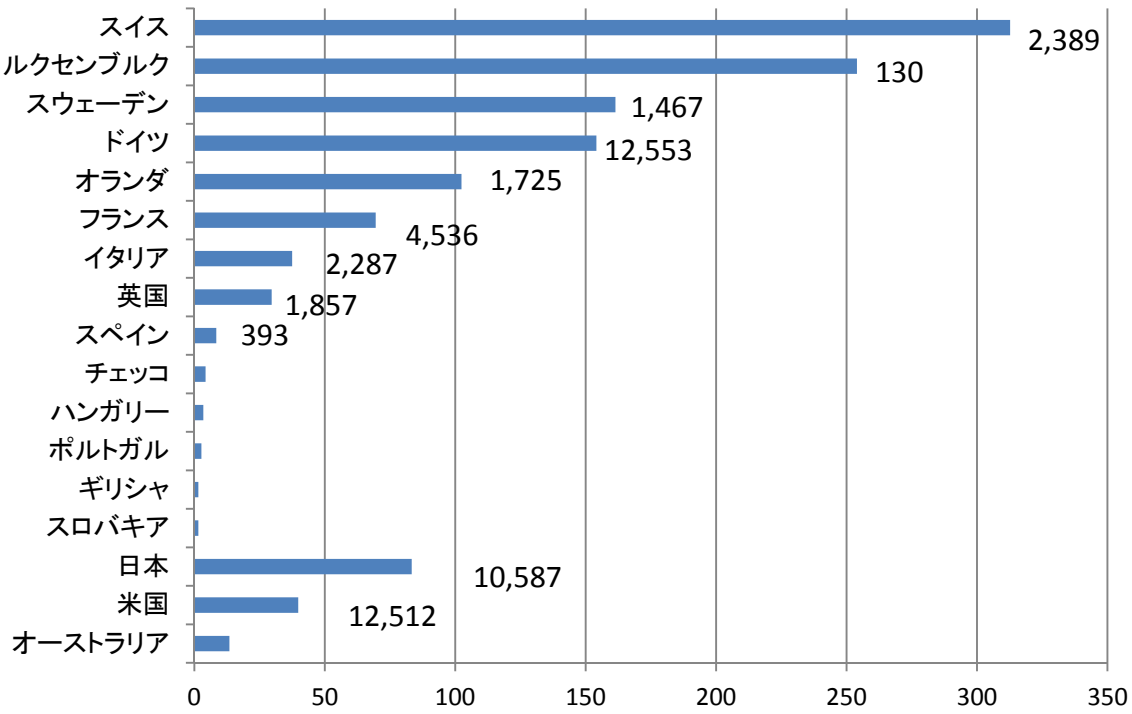
9. 研究だけでない発展要因



Unit labor costs (2000=100)

人口100万人当たりの登録特許数　（数字：登録数）

（欧州特許庁2010年）



ドイツ経済の基盤をなす要因例
(Prof. Dr. Hermann Simon氏資料)

ドイツとは・・・

- 領邦国家の集まり、複雑な統治機構
- 科学への信奉、論理、合理、徹底
- 研究の自治、自立（政治・行政と一線を画す）
- 研究を国家発展の基盤とみなす政治家
- 工学者の発想は企業と同じ土俵
- PhD学生（研究者）の流動性促進
- 卓越した次世代層の養成（頭脳循環）
- 欧州、世界を睨んだ発想（中小企業も）
- アイデア創出を推進（政策でも）
- ネットワーク重視（上からの統合議論はない）
- 政策の統合化（経済、金融、労働、外交、研究）